

農山漁村等地域の活性化のための融資をはじめとする支援

 (38) JAバンク利子補給を活用した、短期資金「JA農業法人ローン」の創設
農林中央金庫 熊本支店 (熊本県)

新規	継続
○	
	(平成 年 月)

1 動機(経緯)	<p>全国的な農業者の法人化および大規模化に伴い、農業法人における短期運転資金の需要は高まっています。一方で、国の制度資金である「農業経営改善促進資金(スーパーS資金)」は県域ごとに予算枠の制限があります。JAバンク熊本におきましては、スーパーS資金の補完的な役割を担う資金として、「21世紀農業フォローアップ資金」があるものの、契約の更新時には新規申込と同様の手続きが必要であるなど、利便性において課題を残していました。</p> <p>農業者ニーズへの対応およびJAの取引拡大・利便性向上を図るべく「JA農業法人ローン」を創設し、取扱いを開始いたしました。</p>
2 概要	<p>「JA農業法人ローン」の概要は以下のとおりです。</p> <p>農業法人を対象とした、短期運転資金極度の当座貸越方式となります。契約期日到来時にJA内所定の審査による1年間の自動更新を可能とすることで、顧客およびJAにおける事務負担を軽減しました。</p> <p>極度上限3,600百万円(認定農業者)とし、原則担保不要となります。「スーパーS資金」の補完的な役割を担うとともに、新規設立法人や未取引法人も対象(要件あり)とし、他金融機関における既存の短期運転資金借換も可能とすることで、新規取引先開拓や取引深耕の営業ツールとして活用しています。</p> <p>また、極度設定後1年間(継続あり)は最大1.0%のJAバンク利子補給が利用できます。</p>
3 成果(効果)	<p>平成29年12月時点の実績は、取扱件数6件、取扱金額81百万円の極度枠設定がありました。</p>
4 今後の予定	<p>各JAにおきまして利用実績に大きな差があるため、更なる周知を行うことで県域における極度設定件数および金額を増やし、JAの取引拡大・利便性向上を図る予定です。</p>